

12 日山の植物

すぐカラマツの植林地に入る。このカラマツ林内には、自然侵入したイヌシデ、ミズキ、クリなどがよい成長をみせている。林床にはクヌイザサが密生している。

しばらく行くと、谷川の流れに近くなり、カラマツはスギにおき替る。その林床にはスズタケが密生する。

路もだんだん登り、尾根に近くなるとスギ林も切れ、アカマツ林となる。登りつめた平坦な鞍部で、路は南津島からの路と合流する。このあたりには高さ30mにもなるアカマツの美林が残っている。このようなアカマツ林はかつてはこのあたり一帯に見られたが、今では伐採され、代って新しいアカマツが植林されている。亭々と茂るアカマツの下には、ヤマモミジ、イヌシデ、クマシデ、ケヤキ、カスミザクラ、ヒトツバカエデなど、雑多な広葉樹の繁茂があり、林床にはチマキザサが密生している。

ここから、新しいアカマツ植林地の坂を上り、路は平坦な尾根に出る。ここからは、長いゆっくりとした上りで、日山の頂上に達する。この尾根道の周辺は美しいイヌシデの林である。イヌシデの他に、アカシデ、クマシデ、サワシバなどシデ属の植物が多く、他に



〔アカマツ林〕

この付近の尾根筋に自生するアカマツは林業上優良品種として尊重されている。